

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	教職実践演習（栄養教諭）						授業形態	演習	
科目コード	411430	単位数	2単位	配当学年	4年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	岩田 賢士、杉尾 直子、植村 秀人								
授業概要	<p>本科目は、教職課程最終科目として4年間の大学における学習全般をふりかえります。それらを踏まえ、受講者一人ひとりが教師として必要な資質の確認を行います。自身の教師となる上での課題(不足している知識や技能)を把握し、その課題の改善に向けた検討を行うものであります。そのことによって、受講者が、将来資質の高い栄養教諭となることを考量した授業といたします。【技能を応用し活用する能力の育成】</p> <p>管理栄養学科担当教員は、学校栄養職員・栄養教諭として勤務した経験を活かして実践的教育を行います。教養教育センター教員は、教職全般に関連する視点から教育を行います。</p>								
関連する科目	教職課程全科目及び学科開設科目(管理栄養士養成課程科目として指定された科目)を履修して、「栄養教育実習」に臨むこと。								
授業の進め方 と方法	<p>①教育実習先の概要をプレゼンを行う。②教育実習で行った模擬授業を行う。③学生間や教育実習時に訪問を行った教諭等で質疑応答を行う。④教員が講評する。④1年生で栄養教諭を目指したい学生や2～3年生で栄養教諭を専攻している学生にも呼びかけています。</p> <p style="text-align: right;">【人間力、社会性の涵養を目指す】</p>								
授業計画 【第1回】	はじめに～履修カルテの整理とこれまでの学習～（植村） 履修カルテを整理し、これまでの学習を振り返り、今後の課題を整理する。								
授業計画 【第2回】	教育実習から模擬授業の実施及び質疑応答①（杉尾） 教育実習全般の反省（仮）								
授業計画 【第3回】	ポートフォリオの作成～特別活動論の講義内容をまとめる～（岩田） 特別活動の講義内容を整理することで、前回は発展させながら教員としての資質能力を確認する。								
授業計画 【第4回】	教育実習から模擬授業の実施及び質疑応答②（杉尾） 小学校領域について（仮）								
授業計画 【第5回】	今後の教育の変化について考える。（植村） 今後の教育の変化を理解し、教師として何が必要かを考える。								
授業計画 【第6回】	教育実習から模擬授業の実施及び質疑応答③（杉尾） 中学校領域について（仮）								
授業計画 【第7回】	リーダーの資質について考えてみる。（岩田） リーダーのあるべき姿について考え、教師となった際の姿勢に活かす。								
授業計画 【第8回】	教育実習から模擬授業の実施及び質疑応答④（杉尾） 3年生への模擬授業（仮）								
授業計画 【第9回】	教員育成指標について考える。（植村） 4年間の学修を教員育成指標の視点から振り返る。								
授業計画 【第10回】	教育実習から模擬授業の実施及び質疑応答⑤（杉尾） 3年生との意見交換（仮）およびまとめ								
授業計画 【第11回】	教師の働き方について考える（岩田） 教師の働き方について現代の課題などを踏まえ考える								

授業計画 【第12回】	教育課題と教師・学校教育（植村） 教育課題から教師や学校教育がどのように対応できるか考える
授業計画 【第13回】	教員とコンプライアンスの遵守について（岩田） 教師として必要な法令遵守について再確認する
授業計画 【第14回】	環境教育と農や食（植村） 環境教育（SDGsやESD含む）などと農業や食がどのように関わっているか考える
授業計画 【第15回】	日本と海外の教育制度 ～部活動の違い～（岩田） 内外の教育の違いについて部活動を通して考える
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年次前期までに修得した学習内容を振り返り、教科指導や生徒指導に関する専門的知識・技能の到達度を確認する。（課題解決のための能力）</li> <li>・学生に教員としての自覚を促し、責任感を養う。（社会的責任）</li> <li>・実際の学校現場で求められる実践的な知識・技能の育成について、現場の教員や教員経験者との意見交流や、学生同士のディスカッションを通して理解を深めることを目指す。（コミュニケーション力）</li> <li>・「生徒理解」「学級経営」「保護者との人間関係構築」など、社会性や対人関係能力が特に必要とされる領域を特に重点領域とする。（向上する実践的な態度）</li> <li>・栄養教諭としての基礎的な力量の形成を目指す（高度な専門力）</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	履修カルテを事前に整理する（5時間程度） 各授業会に合わせ担当者からの事前課題などを行う（各1～2時間）
授業時間外の学修 【復習】	授業を振り返る（各1～2時間） レポートなどを作成する（10時間）
課題に対する フィードバック	グループワーク等での指導助言を行います
評価方法・基準	杉尾担当分：40点(授業ごとのレポート) 岩田担当分：30点(レポートの提出、授業態度) 植村担当分：30点(授業ごとの感想文、グループワーク資料やグループワークへの参加状況を総合的に評価する)
テキスト	特にありません
参考書	文部科学省「小学校学習指導要領」 文部科学省「小学校学習指導要領解説 総則編」 文部科学省「中学校学習指導要領」 文部科学省「中学校学習指導要領解説 総則編」 文部科学省「高等学校学習指導要領」 文部科学省「高等学校学習指導要領解説 総則編」 その他講義内容に応じて適宜資料配布を行います。
備考	分担による授業のため留意すること